

岸和田民主市政の会 声明文

11月29日投開票の市長選挙は、西出あきお氏34295票、野口聖氏36902票という結果になりました。

「岸和田民主市政の会」とその構成団体および構成員は、西出あきお氏を自主的に支持し、西出市政実現にむけて奮闘しました。今回の選挙は、4年前に自民党、公明党から推薦をうけて誕生した野口市政の継続を許すのか、それとも「市民目線」を掲げる西出氏とともに市民が主人公の市政を取り戻すのかが大きく問われる選挙になりました。

「岸和田民主市政の会」は「現市政の継続を許さない」ことを第一義的に考え、市民とともに進めるまちづくりに積極的に参加されてきた西出あきお氏の政策については多くの部分で共通していることを確認し「岸和田民主市政の会」は自主的な判断で、西出あきお氏を支持して闘いました。

「岸和田民主市政の会」は、野口市政による市民いじめの実態、とりわけゴミ袋有料化の問題や子育てや福祉、教育へのサービス切り捨てと負担の押し付けなどを正面から告発し、市民の声に耳を傾けようとしない野口市政の態度を厳しく問う論戦を展開しました。マスメディアも「ゴミ袋有料化が争点」と報道されるなど、野口陣営もいいわけをせざるを得ない状況に迫りつめました。小集会や決起集会、街頭演説や個人演説会などで、西出候補の気さくな人柄や、福祉ボランティアなどの経験を通じての信念のこもった訴えに共感が広がり、急速に西出候補への期待は高まり互角の闘いにまで追い上げることができました。

その結果、野口市長が自ら進めてきた「再生プラン」をも否定するような公約を掲げざるを得ないほど追い込みました。

今回の結果は僅差での惜敗となりましたが、市民の願いに応えた市政実現への共感は大いに広がりました。

「岸和田民主市政の会」は、市民の願いを実現する先頭に立ち、市民が主人公の市政をすすめるため、すそ野の広い運動として発展させ、市民自治都市としていっそう輝く岸和田をつくるために奮闘します。

2009年11月30日

岸和田民主市政の会